

全く目が見えなくなり、パウロの名前を呼ぶ声が聞こえませんでした。その声は、主イエスの声でした。このことは、パウロにとって驚きの出来事でした。主イエスはパウロにご自分が神から遣わされた救い主であることを示し、罪からの救いの機会を与え、主イエスを伝える人となりました。

このことをパウロは生涯忘れませんでした。どんな時も「今の自分になったのは、神の恵み」であることを忘れなかったのです。

呉ハレルヤ会の営み、20年を越えました。これから将来に向い、進む時、どのように進んで行けばいいのでしょうか？

① 祈ることを忘れなう。

創設以前から今も、月一回の祈り会が継続されています。本通に続いて長迫が開設された時も、5年前ハレルヤが開設された時も、祈って進めて来ました。毎日、様々な事がありますが、そうした中 今日まで来ることができたのは、祈ることによって進んできたからです。祈りは、呉ハレルヤ会の原動力です。祈りを大切にすると呉ハレルヤ会がありますように。祈って進みましょう。

② へりくだった心を失わない。

呉ハレルヤ会の出発は小さなものでした。今は開設の時には考えられなかった規模になりました。こうした結果に至ったのは、関係者の努力、協力、取組の結果です。そして、忘れてはならないのは、全ての背後に神の守り、導き助けがあったからです。箴言16章9節に「人は心に自分の道を思い巡らす、しかし、主が人の歩みを確かにされる」「新改訳とあります。全ての栄光は、神のものであります。これまでの歩みは、全ての栄光を神におかえして来ました。これからも「全ての栄光を神におかえする」へりくだった心の姿勢を失わないようにしましょう。これがこそが、神の恵みにより今があるという生き方です。

③ 神の恵みを無駄にしない。

パウロが生涯を通して、心がけたのは「神の恵みを無駄にしない」ことでした。「神の恵みを無駄にしない」ようにするには、どうしたらいいのでしょうか。今あることを神に感謝し、神から与えられた賜物(その人にしかない神から与えられた力)で人々に仕えることではないでしょうか。自分を喜ばせる働きではなく、周りの人に喜び、幸せを届けましょう。

「かしの木ショップ」オープン

4月から、月曜日と木曜日の10時から15時まで、ハレルヤの1階スペースをお貸しして、障害者施設「かしの木」の就業支援をしています。

高齢者施設と障害者施設が連携すること、これからの地域共生社会実現に向けて、とても大切なことです。また、市役所通りの活性化にもつながります。

ショップでは、「かしの木」の皆さんが作ったパン、クッキーなどを販売しています。ぜひご来店ください。



中通ハレルヤ
かしの木ショップ
月・木 10時~15時 営業中

新しい呉ベタニアホーム長迫に向けて



呉ベタニアホーム長迫
管理者 村上賢

この度、私は呉ベタニアホーム長迫の管理者に就任いたしました。平成20年7月に当法人に入社し、介護職員、相談員、介護支援専門員と様々な職種を経験する中で、多くの人の支えもあり、成長することが出来ました。

昨年、呉ベタニアホーム長迫は開設10周年を迎えました。これも皆様のご支援の賜物と、心より感謝しております。

今後ますます高齢化が進む中で、福祉サービスのニーズは増え、地域における施設の役割は大きくなっていきます。利用者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らしていける様に支援し、皆様に信頼され地域社会の福祉拠点として、その一端を担っていきたくと考えています。

共に働く職員と研鑽を積み重ね、利用者の半歩後ろから、そっと気持ちに寄り添い、共感して、その人の生活に彩りを添える様なケアを目指し、「ベタニアで良かった」と思える施設づくりに取り組めます。

季節と人を彩る作品制作

個別対応デイサービスべたにあ
介護職員 佐々木 芙美子

個別対応デイサービスでは、壁画制作などのレクリエーション活動を通して、利用者の生活意欲を引き出し、自立支援に繋げた事を考えています。「その人自身」を知る為にも、このような活動は、利用者が周りの人との関係を築く良い機会です。利用者出来る範囲で参加して頂き、一緒に楽しんでいます。



桜のパステルアート

特に印象に残った作品が、3月に行った「桜のパステルアート」(写真)でした。桜の形に切り抜いた紙の下に違う紙を置き、パステルの粉をふりかけ、ティッシュペーパー等で擦って色を付けていきます。桜も、いろんな色があると楽しいだろうと思っていましたが、「ピンク」等、赤系色を選ばれる方が殆どでした。桜を連想する色は、皆一緒なのだ、と、ホッとしました。

昼食に楽しみを

デイサービスセンター 呉ベタニアホーム
相談員 前川 芽衣

5月より、デイサービスの食事の内容が変更になりました。

おかずの品が一品増え、食器やお盆も新しいものになりました。利用者の方々からは「箸が持ちやすくなって」「見ているだけでも、お腹いっぱい」と様々な感想を頂いています。また、食事前に栄養士による食事メニューの効能の説明を行うようになりました。動脈硬化予防、腸内環境の改善、疲労回復等、どんな効能があるのか知ってもらい、食事を召し上がって頂いています。

見た目も鮮やかで楽しく、身体にどのよう

良いものかを、利用者の方々と会話をしながら食事をしておられます。以前より「ベタニアのご飯は美味しい」と好評でしたが、これからも楽しみに感じて頂けるようになればと思います。



ある日の食事
血液サラサラメニュー
・ひじきご飯
・さけのガーリック炒め
・茶わん蒸し
・すまし汁
・オレンジ